

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 7 号 (5 月 15 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

地区総体 東海に敗れベスト8止まり

5 月 11 日 (土) 12 日 (日) 地区総体が地区大会の聖地落合スポセンで行われました。山東はMリーグを勝ち抜き、県総体を決めている 8 チームで争われるトーナメントを戦う。初戦の相手は、山形の猛る虎、東海大山形。人気・実力を兼ね備えた山形の私学の雄。顧問が作成するブログの注目も高い。今年に入り部報「虎嘯」も発行しているようですが、こちらは門外不出のよう。

試合が始まると、FWに簡単に起点を作らせてしまい、山東陣内で試合が進む。試合開始早々に中央から左の(東海側からすると右の)フリーの選手にボールが渡り、ビッグチャンスを作られるも、シュートは右に(東海側からすると左に)外れ、事なきを得る。その後は東海の優勢で試合が進むが、時間を追うごとに試合が膠着してきていることが分かる。山東からすれば、格上相手に粘った戦いができており、悪くはない。逆に、東海からすれば、最初のビッグチャンスを決めなかったことが響いてくる前半。前半の最後にも右から左に(東海側からすると左から右への)サイドチェンジを許し、同じくフリーでシュートを打たせてしまうが、こちらもゴール上へと外れ、事なきを得て、前半終了。東海サイドにボールを運ぶことはできるが、シュートは一本も打たせてもらえなかった前半。

そして後半。前半途中からポツリポツリ降り出した雨は勢いを増し、ピッチコンディションを悪くしている。いや、前半の固いクレアのピッチ¹も東海の繊細なボール回しには不向きと言え、泥仕合に持ち込みたい山東からピッチは味方。後半は一転泥仕合そのものになるが、それも山東に味方しているか。前半よりもチャンスは作れている。可能性のあるシュートも数本打ったか。前半 3 : 7 の試合だったとすれば、後半は 4 : 6 か 5 : 5。守備でも、ヒロアキ弟の一年タツルがCDFとして対人プレーで頑張っており、また、2年GKケツンことオオノの安定感あるゴールキーピングが光る。遠くてよく分からなかったのですが、最終盤にピンチを招いたものの、それを凌ぎ、結局 0 対 0 の引き分け。

70分ゲームだから助かったものの、90分ゲームだったら、より厳しい結果になったことでしょう。東海の層の厚さを感じました。山東も、徐々に、粘りある戦いができるようになっており、久しぶりの零封。調子が上向きであると感じました。ただ、根本的には中盤、前戦で、相手を抜けないまでも最低でも奪われない力が必要だと感じましたし、劣勢でも勝つためには、少ないチャンスをしっかり決め切る力が必要だと感じました。いずれにしても、特効薬はないのが辛いところですが・・・。

今週末は早速Yリーグです。応援よろしくをお願いします。

5月18日(土) Yリーグ第5節VS長井工業 @長井市営(長井工業高校前) 12:00~

¹ 固いクレアだとボールが余計に跳ねてしまい、収まらず、ボールが地を這う展開になりにくい。空中戦がどうしても多くなってしまふ。